

スマート農業技術の開発・実証プロジェクトの概要

○ 実証課題

ほ場の超大区画化に併せた次世代型大規模水田経営における用途別多品種米低コスト・高品質型スマート農業一貫体系の実証

○ 事業実施者（受託者）

- ・ コンソーシアム名：上越市スマート農業プロジェクト委員会
- ・ 代表機関：上越市（事務局：農政課）
- ・ 構成機関：上越市、新潟県農業総合研究所、上越農業普及指導センター、えちご上越農業協同組合、クボタアグリサービス(株)、(株)クボタ、積水化学工業(株)、関川水系土地改良区、(農)高野生産組合

○ 実証目的

最大4haの区画を含む大区画ほ場に対して、スマート農業技術の導入による水稻の収量及び品質の安定化と生産コストの削減効果に関する実証を行うとともに、この先進的な取組を市域のみならず全国に広く発信することにより、上越市農業の魅力向上及びブランド化を推進する。

○ 実証期間 令和元年度～令和2年度（2年間）

○ 事業費 令和元年度 45,293千円（配分上限額）

○ 実証ほ場 板倉区高野 23.0ha、(農)高野生産組合

○ 実証目標【水稻60kg当たりの生産コスト・10a当たりの収量】

【目標】

- ◆ 7,900円/60kg ・ 645kg/10a（直播栽培…水稻種を直接ほ場に播く栽培）
- ◆ 9,400円/60kg ・ 585kg/10a（移植栽培…従来水稻苗をほ場に移植する栽培）

本実証は、農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」として、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構からの委託で実施しています。